

手を握らずに親と子



令和6年9月発行 登別市教育委員会・学校教育グループ「子育てコラム」 No. 37

BOOK

読書がもたらす効果



1、コミュニケーション能力の向上

学校生活はもちろん、大人になって社会に出てもコミュニケーション能力は欠かせないスキルです。本を読み、多くの考え方やエピソードに触れることで、しっかりと相手に自分が伝えたいことを伝えることができるようになります。想像力が豊かになり、日常生活でも相手に寄り添い、共感することにつながります。

2、学力の向上

「読書を習慣化している子どもは、そうでない子どもより学力が高い傾向にある」といわれています。国語、算数、理科、社会、英語など全ての科目の問題を読み解く力が付き、語彙力や思考力、集中力や表現力など学力向上に欠かせない力を養うことができます。

書く能力は、高校の受験や就職試験の際など一生求められます。読書で幅広い力を習得しておくことで、適切な表現で文章を書く力がつくようになります。

3、ストレスの解消

- 寝る前に本を読むことで、リラックスした状態で眠りにつける場合もあります。
- 勉強の息抜きに短時間でも読書をすることで気分転換になります。
- 学校で辛いことや友達関係で何か悩みがあるとき、本を読むと前向きになれるヒントやアイデアが得られることもあります。

子どもが「読書好き」になるには・・・



① 大人が読書する姿を見せる。

一日5分でもいいので、まずは大人がお手本になって読書する姿を見せることが大事です。子どもが学校から借りてきた本と一緒に読んで、感想を話し合うのもいいですね。本選びの時には、「この本はダメ。これにしなさい。」などと親があれこれ言うと、子どもの本を読む意欲がそがれてしまいます。

子どもが何を読めばいいのか聞いてきたとき以外は、子どもに任せてみましょう。

② 子どもと一緒に図書館や本屋さんに行く。

図書館を利用する、時には気に入った本を買ってあげることで、子どもの本に対する興味が芽生えてきます。



③ 子ども専用の本棚を作ってみる。

立派な本棚じゃなくても構いません。カラーボックスや段ボールを工夫して子ども専用の本棚を作ってみてください。手の届くところに自分専用の本棚があることで自然と本への愛着や関心が育つはずですよ。

◆7月発行「子育てコラム」より◆

「図書館に足を運ぶのはちょっと大変・・・」という場合は、登別市立図書館のホームページ (<http://www.noboribetsu.ed.jp/~iinkai/library/>) から電子書籍をかりることもできます。

また、学校の図書室にも、たくさんの本が並んでいます。図書室には、図書館司書がいるので、「おすすめの本」を聞いてみるのもいいでしょう。

📖 子どもと一緒に大人も読書を楽しんでみましょう！ 📖

ひとりで悩まず相談しましょう

何か困りごとがあれば、遠慮なく相談してください。

◎登別市いじめ相談（教育相談）電話

☎85-0085（月～金曜日 9時から17時）

◎登別市教育指導室 『メール相談』

Eメール：tsunagu@city.noboribetsu.lg.jp